

厚生労働省委託

「医療系ベンチャー・トータルサポート事業」

# ***Direct Flight***

募集要項

(応募締切: 2025 年 7 月 31 日)

## 1. 本プログラムの目的・趣旨

---

「厚生労働省委託 医療系ベンチャー・トータルサポート事業」にて実施する Direct Flight (MEDISO Medical Startups Global Acceleration Program) (以下、「本プログラム」)は、エコシステム構築の第一歩となる成功事例の創出を加速させるため、海外展開を目指すアカデミア・ベンチャーを支援し、グローバルエコシステムを構築することを目指したプログラムです。

本プログラムは、異なる特色を持つ世界トップクラスの 4 つのライフサイエンス都市「Boston」、「Philadelphia」、「San Diego」、「UK」にて、ローカルエコシステムを熟知するパートナー機関と連携し、4つのアクセラレーションプログラムを展開します。米国・欧州への進出を目指す日本の医療系ベンチャーやアカデミアに所属する研究者の海外展開を支援するプログラムとして、事業戦略のブラッシュアップやアクションの明確化を図る「メンタリング」、英語ピッチの質向上を目指す「ピッチトレーニング」、現地の投資家・事業会社等とのネットワーク構築を図る「ピッチイベントおよびネットワーキング(現地開催)」等を実施します。

本プログラムは、厚生労働省の委託を受けて株式会社三菱総合研究所が運営します。

## 2. 本プログラムの概要(全プログラム共通)

---

本プログラムでは、「Boston Program」、「Philadelphia Program」、「San Diego Program」、および「UK Program」の 4 つの個別のアクセラレーションプログラムを実施します。応募者には参加を希望するプログラムを選択(第1、第2希望)して応募いただきます。採択社・者は4つのプログラムごとに決定されます。以下では、4 つのプログラム共通の実施内容について説明しています。実施方法等の詳細については、「3 各プログラムの実施内容」をご確認下さい。参加者は、原則としてすべてのプログラムに参加してください。また、本プログラムは一部の内容を除き英語での実施となります。通訳はつきません。

### 2.1 参加対象者

- 本プログラムは、医薬品・医療機器・再生医療等製品等の製品開発を行う、又はそれを支援する創業技術等の基盤技術や医療用マテリアル等に関連する製品の開発を行う、ベンチャー企業または、将来的なベンチャーの起業を目指すアカデミア所属の研究者を参加対象とします。
- 「Boston Program」、「Philadelphia Program」、「San Diego Program」、および「UK Program」の4つのプログラムごとに、対象とする領域、事業フェーズが異なります。各プログラムの内容をご確認下さい。
- 全ての参加者は、「4.1 応募資格」を満たすことが求められます。

### 2.2 プログラム支援内容

#### 2.2.1 メンタリング・ピッチトレーニング（オンライン）

- 海外進出のための事業戦略のブラッシュアップや具体的アクションの明確化、現地渡航時の事業会社・VC 等とのコネクション構築・プロポーザルスキルの向上等を目的としたメンタリングを実施します。
- ピッチのスキルアップやピッチデッキのブラッシュアップのためのトレーニングを実施します。

#### 2.2.2 ピッチイベント・ネットワーキング(海外渡航)

- プログラム参加者には各プログラムの開催地域に渡航いただきます。海外の現地の投資家、VC、事業会社等をオーディエンスとするピッチイベントを開催します。また現地のプレイヤーとのネットワーキングイベントを開催します。渡航中は各地域のインキュベーション施設等、今後の海外展開後に資する見学機会の提供も予定します。
- 海外渡航は現地集合・解散となります。本プログラムに関する一切の費用は応募者において負担頂きますが、参加者に対しては渡航費支援を行います。詳細は 4.3 プログラム参加費および渡航費支援をご確認下さい。

## 2.3 プログラムスケジュール(予定)

時期	内容
2025 年 9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体キックオフ:9 月 1 日</li> <li>● メンタリング、ピッチトレーニング(オンライン)</li> </ul>
2025 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メンタリング、ピッチトレーニング(オンライン)</li> </ul> 現地渡航(ピッチイベント・ネットワーキング) <ul style="list-style-type: none"> <li>● Philadelphia Program 2024 年 10 月 28 日～30 日</li> </ul>
2025 年 11 月	現地渡航(ピッチイベント・ネットワーキング) <ul style="list-style-type: none"> <li>● Boston Program 2025 年 11 月 10 日～13 日</li> </ul>
2025 年 12 月	現地渡航(ピッチイベント・ネットワーキング) <ul style="list-style-type: none"> <li>● UK Program 2025 年 11 月 27 日～12 月 2 日(※11 月 17 日週から 12 月 1 日週での開催となる可能性があり、応募期間中に渡航期間が確定した場合は HP にて掲載)</li> </ul>
2026 年 2 月	現地渡航(ピッチイベント・ネットワーキング) <ul style="list-style-type: none"> <li>● San Diego 2026 年 2 月 19 日～26 日</li> </ul>

※現地渡航の実施時期と期間は、参加するプログラムにより異なります。

※スケジュールは参加者募集時点での予定であり、今後変更となる可能性があります。

## 3. 各プログラムの実施内容

---

### 3.1 Boston Program

#### 3.1.1 プログラムの概要

Boston エリアは、NIH からの研究資金獲得額が全米トップクラスの世界的なライフサイエンス研究の中心的都市であり、世界トップ製薬企業や GAFA を含む多数のトップ企業が集積しています。また、有力な VC も所在し、ベンチャーや起業家に対する育成プログラムも多数展開されています。

Boston Program は、米国での事業展開に向けて、ライフサイエンス研究の中心的都市である Boston エリアの投資家、VC、事業会社等とのネットワーク構築を支援するプログラムです。同プログラムでは、Boston 発祥のライフサイエンスインキュベーターである BioLabs 及びアステラス製薬と連携し、現地のエコシステムに根ざした知識と経験を持つエキスパートによる、技術および事業開発に関するメンタリング、現地の投資家や VC 等を対象としたデモデイ等を実施します。

#### 3.1.2 プログラムの主な対象者

- 非臨床、臨床初期ステージにあるベンチャー企業または起業を見据えるアカデミアに所属する研究者を主な対象者とします。
- 対象疾患や領域は不問です。

※上記は主な対象領域・ステージですが、当該対象者に応募を限るものではありません。

#### 3.1.3 プログラムの詳細

##### (1) ニーズアセスメント・メンタリング

- 現地渡航時に実施する、ワークショップ・セミナーや 1on1 ミーティングを効果的に実施するため、参加者のニーズを把握するオンラインミーティング、およびニーズを踏まえたメンタリングを実施します。また現地渡航時のピッチイベントに向けてピッチトレーニングを実施します。

##### (2) オンラインセミナー

本プログラムのイントロダクションとしてのオンラインセミナーを実施します。具体的な内容は参加者のニーズ等に合わせて調整します。

##### (3) Boston オンサイトプログラム

ボストンに現地渡航し、オンサイトプログラムを実施します。

## 1) ワークショップ・セミナー

- 米国でバイオベンチャーとしてスタートして成長を実現することをテーマに、現地のエキスパートを講師として対面でのワークショップ・セミナーを開催します。以下のテーマでのセミナーを予定しますが、具体的な内容は参加者のニーズ等に合わせて調整します。
  - 米国投資家向けピッチのポイント
  - 日米間の文化の違いを乗り越えるコミュニケーション
  - 複数国展開するバイオテックにとっての IP ポートフォリオマネジメント
  - 米国で会社を立ち上げるための条件
  - Target Product Profile (TPP) の開発戦略
  - スタートアップのライフサイクル(日英との比較) 等

## 2) 現地施設見学

- ボストンエリアに立地する BioLabs のラボ施設を始め、ボストンのバイオテクノロジー・エコシステムの中心地である Kendall Square をめぐり、ボストンやケンブリッジで利用可能なラボやワーキングスペースの見学ツアーを実施します。

## 3) 1on1 ミーティング

- 参加者が米国バイオテクノロジー市場との直接的なコネクションを構築できるよう、投資家、VC、製薬企業等との 1on1 ミーティングを実施します。本ミーティングは、渡航前に実施するニーズアセスメント・メンタリングの内容や議論の結果に基づき、参加者ごとに設定します。

## 4) ネットワーキングイベント

- ボストンのバイオテクノロジー・エコシステム関係者と繋がるため、現地の業界関係者が参加するネットワーキングイベントを開催します。本イベントは、渡航期間の早い段階に開催予定であり、ボストン滞在中にフォローアップミーティングを設定することも可能です。

## 5) デモデイ・ネットワーキング

- ボストンのバイオテクノロジー・コミュニティ向けピッチイベントを開催します。参加者はボストンエリアの投資家を含むエキスパートに対してピッチを行い、フィードバックを得ることが出来ます。イベント終了後にはネットワーキングも開催します。

### 3.1.4 プログラムスケジュール

#### (1) プログラム全体(予定)

- 2025 年 9 月 1 日:全体キックオフ
- 2025 年 9 月 2 日:ニーズアセスメント・メンタリング、オンラインセミナー開始
- 2025 年11 月 10 日～13 日:Boston オンサイトプログラム(現地渡航)

#### (2) Boston オンサイトプログラム(予定)

時期	内容
11 月 10 日	ワークショップ、ミーティング、現地視察見学
11 月 11 日	ワークショップ、1on1 ミーティング、ネットワーキング
11 月12 日	ワークショップ、パネルディスカッション・ネットワーキングランチ
11 月13 日	ワークショップ、ミーティング、A/V チェック、デモデイ

### 3.1.5 連携パートナー



ボストン発祥のライフサイエンスインキュベーター。全米11のインキュベーション拠点を展開。ワンストップで実験ができる優れたシェアラボ、事業開発サポート、強力なネットワークの提供を通じて、バイオベンチャーの様々な課題を解決させ、成長を促進。500以上のライフサイエンス企業の創出し、800 の雇用創出、50億ドルの資金調達に貢献



アステラス製薬は、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えることを目指すグローバルライフサイエンス企業です。私たちは、がんや、眼科・泌尿器疾患、免疫、ウィメンズヘルスなどの多様な領域において、革新的な治療法を提供しています。研究開発プログラムを通じて、アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓しています。

## 3.2 Philadelphia Program

### 3.2.1 プログラムの概要

フィラデルフィアは、ライフサイエンス分野の主要な学術機関・研究機関が集積し、特に細胞・遺伝子治療研究が盛んであり、大手の製薬企業や関連機関がクラスターを形成する、細胞・遺伝子治療研究・産業のグローバルハブです。また、投資家やベンチャーキャピタルも多く、米国において創薬スタートアップへの資金提供が活発なエリアの一つです。

Philadelphia Program は、米国での事業展開に向けて細胞・遺伝子治療研究の代表的エリアであるフィラデルフィアで、投資家、VC、製薬企業、CRO 等とのネットワーク構築を支援するプログラムです。同プログラムでは、日米に拠点を有するイノベーションセンターである CIC と連携し、米国の規制、医療システム、フィラデルフィアのエコシステムに関する知識の獲得機会の提供と、サイエンスとビジネスの両面を熟知したエキスパートによるメンタリング、ピッチ指導、現地の投資家や製薬企業等を対象としたデモデイおよびネットワーキングイベント等を実施します。

### 3.2.2 プログラムの主な対象者

- 細胞・遺伝子治療・小児関連等のシーズを有するベンチャー企業、起業を見据えるアカデミアに所属する研究者を主な対象者としてします。
- 事業ステージは不問です。

※上記は主な対象領域・ステージですが、当該対象者に応募を限るものではありません。

### 3.2.3 プログラムの詳細

#### (1) セミナー・ネットワーキング

- 米国の法規制や医療システムをテーマとするキックオフセミナーを開催します。また、参加者同士のコミュニティを形成するネットワーキングを行います。
- CIC Tokyo(東京都港区虎ノ門)オフィスとオンラインによるハイブリッド開催を予定しています。

#### (2) 1on1 メンタリング

- 現地のエコシステムに根ざした技術や起業の専門知識を有する専門家による、事業戦略に関するメンタリングを実施します。また現地渡航に向けてピッチトレーニングを実施します。



### (3) Philadelphia オンサイトプログラム

フィラデルフィアに現地渡航し、オンサイトプログラムを実施します。

#### 1) セミナー・ワークショップ

- 現地のスタートアップや創業経験者、エコシステムプレーヤーを講師とするセミナー・ワークショップを実施します。以下のテーマでのセミナーを予定しますが、具体的な内容は参加者のニーズ等に合わせて調整します。
  - Perspective of Life Science VCs
  - Panel Discussion with Local Startups
  - Pitch Practice with Peer Feedback 等

#### 2) 施設・企業訪問

- フィラデルフィアのエコシステムにおけるライフサイエンス関連の研究機関、関連企業・ベンチャー、支援機関等を訪問し、施設見学および訪問先担当者とのネットワーキングを実施します。

#### 3) デモデイ・ネットワーキング

- フィラデルフィアの投資家、VC、製薬企業等をオーディエンスとして招待し、参加者がピッチを行うデモデイを開催します。オーディエンスから率直なフィードバックが得られるよう、クローズドな場とすることを予定しています。

### 3.2.4 プログラムスケジュール

#### (1) プログラム全体(予定)

時期	内容
2025 年 9 月	<ul style="list-style-type: none"><li>● 9 月1日:全体キックオフ</li><li>● 個別キックオフセミナー・ネットワーキング、1on1 メンタリング</li></ul>
2025 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"><li>● Philadelphia オンサイトプログラム(現地渡航) 10 月 28 日～31 日</li></ul>

#### (2) Philadelphia オンサイトプログラム(予定)

期間: 2025 年10 月 28 日～30 日

時期	内容
10 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"><li>● セミナー・ワークショップ、施設・企業訪問</li></ul>
10 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"><li>● セミナー・ワークショップ、施設・企業訪問</li></ul>
10 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"><li>● デモデイ・ネットワーキング</li></ul>

### 3.2.5 連携パートナー



世界の 7 都市に合計約 11 万平米規模でイノベーションセンターを展開。6,000 社にわたるベンチャー・テクノロジー企業を支援。輩出企業による調達額は 80 億ドル超。大企業や VC、様々な知的サービスを提供するプロバイダーなども数多くネットワークを保有。CIC Philadelphia は CIC 初のライフサイエンス起業に対するフルサービスを提供するセンターとして現地のエコシステムを牽引。

## 3.3 San Diego Program

### 3.3.1 プログラムの概要

San Diego エリアは、医学・工学研究、生物工学等で有名な多数の大学・研究機関が立地し、世界最大級のバイオコミュニティである Biocom California 発祥の地、世界最大規模のバイオ展示会 BIO International Convention の開催地であり、関連企業も多く集積する米国西海岸におけるライフサイエンスの主要エリアです。

San Diego Program は、米国での事業展開に向けて、ライフサイエンス関連企業が集積する San Diego および米国西海岸エリアの投資家・製薬企業・CRO 等とのネットワーク構築を支援するプログラムです。同プログラムでは、Johnson and Johnson が開設するイノベーションセンターである Johnson & Johnson Innovation およびサンディエゴ発祥の世界最大級のバイオ関連業界団体である Biocom California と連携し、米国の規制、医療システム、ローカルエコシステムに関する情報提供や日本と米国の両エコシステムを熟知したビジネスエキスパートによる、米国展開に向けたメンタリングとピッチ指導、現地の投資家や事業会社等を対象としたデモデイ等を実施します。

### 3.3.2 プログラムの主な対象者

- 医薬品分野で、がん、神経、網膜、免疫、プラットフォーム等の事業領域に取り組むベンチャー企業を主な対象者とします。
- 事業ステージは不問です。

※上記は主な注目領域ですが、当該対象者に応募を限るものではありません。

### 3.3.3 プログラムの詳細

#### (1) 1on1 メンタリング

- Johnson&Johnson Innovation および関連企業に所属し、日本のベンチャーの発掘・育成、および北米西海岸をふくむ米国の現地のエコシステムでの事業展開に専門知識と経験を有する専門家による、事業戦略等に関する 1on1 メンタリングを実施します。また現地渡航に向けたピッチトレーニングを実施します。

## (2) San Diego オンサイトプログラム

サンディエゴに現地渡航し、オンサイトプログラムを実施します。

### 1) 1on1 ミーティング等

- Biocom California の開催する Global Life Science Partnering & Investor Conference 等を通じ、現地スタートアップや創業者との出会い、および米国でのプレゼンス確立を目的とした 1on1 ミーティング等を実施します。

### 2) 現地施設見学

- サンディエゴのライフサイエンスエコシステムにおける主要施設・組織の訪問ツアーを実施します。

### 3) デモデイ・ネットワーキング

- Biocom California と連携し、現地の投資家、VC、事業会社等を対象としたデモデイを開催します。また Biocom California のネットワークにより現地エコシステムプレーヤーとのネットワーキングイベントを開催します。

## 3.3.4 プログラムスケジュール

### (1) プログラム全体(予定)

時期	内容
2025 年 9 月	<ul style="list-style-type: none"><li>● 9 月1日:全体キックオフ</li><li>● 1on1 メンタリング</li></ul>
2025 年 11 月	
2025 年 12 月	
2026 年 1 月	
2026 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"><li>● San Diego オンサイトプログラム(現地渡航) 2026 年 2 月 19 日～26 日</li></ul>

## (2) San Diego オンサイトプログラム(予定)

期間: 2026 年 2 月 19 日~26 日

時期	内容
2 月 19 日、20 日、23 日	● 施設・企業訪問、ネットワーキング等
2 月 24-26 日	● Biocom California の開催する Global Life Science Partnering & Investor Conference にて 1on1 ミーティング、デモデイ・ネットワーキング等

### 3.3.5 連携パートナー

## Johnson & Johnson

Johnson and Johnson がサンディエゴを含む世界的科学技術拠点に開設するイノベーションセンター。学術研究機関や新興バイオテクノロジー企業、ベンチャーキャピタル企業が取組研究初期段階のイノベーションに焦点を当て、発明者とジョンソン・エンド・ジョンソン・イノベーションの間で科学技術イノベーションの触媒としての役割を担う。各イノベーションセンターはライフサイエンスに関する新しいアイデアの発掘、評価、資金調達、プロジェクトへの参加を遂行するための総合的な能力を備える。



サンディエゴ発祥の世界最大級のバイオ関連業界団体。全米5拠点、会員数は 1,800以上。スタートアップと投資家等とのネットワーキングを含むイベント開催件数は年間250以上。

(本プログラムではオンサイトプログラムの運営にて連携)

## 3.4 UK Program

### 3.4.1 プログラムの概要

UK エリアは、インペリアル・カレッジ・ロンドン、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学など世界的学術機関が所在し、先端医療産業と次世代ヘルスケア産業の推進にむけロンドンに設置されたスーパーエコシステム拠点である Medcity を始めとしたバイオ産業クラスターが発展する地域です。また UK は欧州最大の VC 市場であるとともに研究機関発のインキュベーターやライフサイエンス特化のアクセラレーターが充実しています。

UK Program は、欧州市場での展開や、欧州を経由した米国市場展開にむけて、英国・欧州の投資家、VC、事業会社や支援機関等とのネットワーク構築を支援するプログラムです。同プログラムでは、アステラス製薬及び、日英に拠点を置きビジネスのグローバル化をサポートする Biospire 及びアステラス製薬と連携し、英国における医療系ベンチャーに関わるビジネス、投資、治験、知財等幅広いレクチャーや個別メンタリング、ビジネスマッチング、現地の投資家や製薬企業等を対象としたデモデイ等を実施します。

### 3.4.2 プログラムの主な対象者

- がん・免疫・神経・計算システム生物学等の事業領域に取り組むベンチャーを主な対象者としませんが、当該対象者に応募を限るものではありません。
- 事業ステージは不問です。

### 3.4.3 プログラムの詳細

#### (1) 投資・事業開発・治験の戦略に関するレクチャー

- 英国のエコシステムや事業・投資・治験戦略に精通した専門家によるレクチャーを実施します。投資戦略と並行して現地法人設立や治験戦略を合わせて議論し、具体的なグローバル展開にむけた情報獲得を図ります。
  - 英国のライフサイエンスエコシステムについて
  - 投資戦略と事業の現地化について
  - 英国での治験実施について 等

#### (2) 専門家によるメンタリング

- 英国のエコシステムを理解する専門家がメンターとなり、参加者に対して実質的なメリットを追求したメンタリングを実施します。投資・事業開発・治験等の分野でのメンターを配置し、オンライン

セッションを通して、課題の抽出、課題の改善、および現地渡航に向けたマッチングの調整(顧客訪問や投資家訪問)を実施します。

### (3) UK オンサイトプログラム

英国に現地渡航し、オンサイトプログラムを実施します。

#### 1) 施設訪問

- 英国における、ライフサイエンス関連の主要機関への施設訪問および担当者とのネットワーキングを実施します。

#### 2) ビジネスマッチング

- オンラインでのメンタリングの内容を踏まえ、参加者の価値を最大化する個別のビジネスマッチング機会を提供します。

#### 3) デモデイ・ネットワーキング

- 現地投資家、VC、事業会社等を対象としたデモデイを開催します。また合わせてネットワーキングイベントを開催する可能性があります。Francis Crick Institute 等と協働する可能性があります。

### 3.4.4 プログラムスケジュール

#### (1) プログラム全体(予定)

時期	内容
2025 年 9 月	<ul style="list-style-type: none"><li>● 9 月 1 日:全体キックオフ</li><li>● 投資・事業開発・治験の戦略に関するレクチャー</li><li>● 専門家によるメンタリング</li></ul>
2025 年 10 月	
2025 年 11 月	
2025 年 12 月	<ul style="list-style-type: none"><li>● UK オンサイトプログラム(現地渡航) 2025 年 11 月 27 日~12 月 2 日(予定)</li></ul>

## (2) UK オンサイトプログラム(予定)

※11月17日週から12月1日週での開催となる可能性があり、応募期間中に渡航機関が確定した場合はHPにて掲載

時期	内容
11月27日	● ネットワーキングセッション1(メンター)
11月28日	● 個別ビジネスマッチング ● デモデイ
12月1日	● 施設訪問(Harwell Campus 等)、および現地でのレクチャー ● ネットワーキングディナー
12月2日	● ラップアップセッション ● 施設訪問(JETRO 等)

### 3.4.5 連携パートナー



日英(東京、京都、Oxford、Cambridge)に拠点を置き、ライフサイエンス領域における日英を中心とするビジネスのグローバル化をサポート。エコシステム、学術、行政にも広いネットワークを保有。



アステラス製薬は、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えることを目指すグローバルライフサイエンス企業です。私たちは、がんや、眼科・泌尿器疾患、免疫、ウィメンズヘルスなどの多様な領域において、革新的な治療法を提供しています。研究開発プログラムを通じて、アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓しています。



## 4. 応募について

---

### 4.1 応募資格

本プログラムへの応募者は、応募時点で以下の(1)～(4)の全ての条件を満たすことが求められます。応募資格を満たしていない応募者については審査対象外とします。

- (1) 医薬品・医療機器・再生医療等製品等の製品開発を行う、又はそれを支援する創薬技術等の基盤技術や医療用マテリアル等に関連する製品の開発を行う、ベンチャー企業または、将来的なベンチャーの起業を目指すアカデミア所属の研究者であること

※ベンチャー企業は、原則として創業後 15 年以内で、かつ中小企業基本法(昭和 38 年 7 月 20 日法律第 154 号)第 2 条に定める中小企業に該当する企業とします

- (2) 米国/欧州への事業展開・進出を真剣に志している、又は取り組んでいること
- (3) 参加者自身が英語によるコミュニケーションを円滑に行えること
- (4) 「参加規約」を遵守すること
- (5) 反社会的勢力、あるいはそれに関わる者との関与がないこと

また、ベンチャー企業については、(1)～(5)に加えて、下記(6)、(7)を満たすこと。

- (6) 日本国内に拠点を有すること
- (7) 米国/欧州において(1)に記載する対象の製品等について上市をしていないこと

### 4.2 採択予定数

- Boston Program、Philadelphia Program、San Diego Program、UK Program の各プログラムについて、5社・者程度、全20社・者

### 4.3 プログラム参加費および渡航費支援

- 本プログラムに関する一切の費用は応募者において負担頂きます。
- ただし、渡航費支援として、本プログラム参加者に対しては各プログラムで実施する海外渡航にかかる費用について、宿泊費・交通費(航空券代含む)を支援します。参加するプログラムによらず、支援は1採択あたり上限 500,000 円(税込)です。

### 4.4 募集スケジュール

- 募集締切:2025 年 7 月 31 日(木)23:59(日本時間)
- 採択決定:2025 年 8 月下旬(予定)

## 4.5 応募方法および提出資料

- (1) 公募ページよりエントリーシート(Excel)をダウンロードしてください。  
公募ページ: [https://mediso.mhlw.go.jp/topics\\_page/20250714-03/](https://mediso.mhlw.go.jp/topics_page/20250714-03/)
- (2) 下記の URL から「応募フォーム」のページにアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。  
応募フォーム <https://mri.lmsg.jp/form/13980/Ho5ELMDd>
- (3) 応募フォームに登録いただいたメールアドレスに自動メールが送信されます。メールを確認し、本文の記載に従って、指定リンクから提出用フォルダ(Dropbox)に、提出資料①、②、③の 3 点を 1 つのフォルダに格納の上、アップロードして下さい。3 点の資料を全て提出して応募完了となります。  
※提出資料のファイル名は、「企業・組織名\_応募者氏名\_資料名」としてください。  
※3 点の提出資料は 1 つのフォルダにまとめて提出してください。提出するフォルダ名は、「企業・組織名\_応募者氏名」としてください。  
※応募フォーム、Dropbox にアクセスできない場合は「5.問い合わせ先」までご連絡ください。  
※提出資料に不備(記載漏れ・提出漏れ・拡張子違い 等)があった場合には、審査対象外(失格)となる場合がございますので、十分ご注意のうえ余裕をもってご提出ください。

### 提出資料と作成方法

#### ① エントリーシート(Excel ファイル)

- 公募ページからダウンロードして、必要情報を全て記入して下さい。
- ファイル名は「企業・組織名\_応募者氏名\_エントリーシート」として提出下さい。

#### ② 英語プレゼンテーション資料(PDF ファイル)

- 以下の情報を記載して、10ページ程度で、言語は英語で作成して下さい。
- ファイル名は「企業・組織名\_応募者氏名\_英語プレゼンテーション資料」として提出して下さい。
  1. 解決したい課題、ニーズ
  2. 想定している商品・サービス
  3. コア技術
  4. 競合技術に対する優位性
  5. 知的財産の状況
  6. 事業計画および戦略の検討状況(海外展開を含め、決まっている範囲で)
  7. チーム(コアメンバーの経歴等)

#### ③ 英語ピッチ動画(5 分程度)(MP4 ファイル)

- ②を用いて英語でのピッチ動画を録画して提出して下さい。  
※ピッチ時間(発表開始から終了)は 5 分程度とします。
- ファイル名は「企業・組織名\_応募者氏名\_英語ピッチ資料」として提出して下さい。
- 動画作成に使用するソフトウェア等は任意です。下記は Zoom 使用による録画の例です。
  - 新規ミーティングを開始し、カメラをオン、②を全画面投影する。
  - 発表者のカメラ映像のウィンドウを最小化し、発表資料と重ならないよう画面右上に移動。
  - メニュータブより、「詳細」→「レコーディング」(Alt+R)で録画を開始し、5分のプレゼン

- テーションを行い、終了後にレコーディングを停止する(Alt+R)。
- Zoom ミーティングを「終了」し、自動で動画ファイル(.mp4)を作成。

## 4.6 審査

- 提出資料をもとに、有識者および各プログラムの連携パートナー関係者により構成する審査員にて審査を実施し、参加者を決定します。必要に応じて、事務局より応募内容に関する問い合わせを行うことがあります。また、選定に伴うオンラインでの面談を実施する可能性があります。
- 主な審査基準は以下の通りです。
  - (1) 技術の優位性
  - (2) 実現可能性
  - (3) 成長可能性
  - (4) 本プログラムへの参加により実現したいことの明確性

※審査のため、審査を担当する有識者および、エントリーシートで応募者が参加希望とするプログラム(第一、第二希望)の連携パートナー機関および関係者に対して提出資料を共有します。

※審査の過程や結果等、審査の詳細に関するお問い合わせは受け付けません。

## 4.7 審査結果の通知

- 結果発表:2025 年 8 月下旬(予定)
- 審査の結果は、応募フォームに入力いただいたメールアドレス宛に通知します。

## 4.8 参加規約

- 参加者は原則として、参加する各プログラムにて期間中に実施・開催されるメンタリングやデモデイ、ネットワーキング等の全てのプログラムに参加すること。
- 本プログラムの参加者は、本プログラムの趣旨・目的を十分に理解し、最後まで積極的にプログラムに取り組むとともに、各種提出物・情報提供をはじめとしてプログラムの事業運営に協力すること。
- 本プログラムへの参加は、応募したベンチャー企業に所属する者（アカデミアの場合は研究室所属者および共同研究者、共同創業者（予定を含む））に限る。ただし、事務局の許可がある場合はこの限りではない。なお、プログラムを通して同一の方の参加を推奨する。
- 本プログラム参加者は、本プログラムに参加する者として、企業名（アカデミア所属の場合は大学・研究室名等）及び取組概要等の情報を事務局が公開することを承諾すること。
- 本プログラム期間中、事務局が実施する各種アンケート等に協力すること。
- 本プログラム終了後、本プログラムに関連して厚生労働省が実施する各種調査等に協力すること。
- 本プログラムへの参加に際して知った、事務局や連携機関、他の参加者に関わる情報を外部に漏らさないこと。ただし、公知の情報はこの限りではない。プログラムの参加に当たっては、秘密保持義務等を定めた誓約書を事務局に提出すること。
- 本プログラムは公的な支援プログラムであることを理解し、本プログラムへの参加者となったことにより、事務局やその委託元の厚生労働省および各連携機関等の関係者から、参加者の技術の評価や法律上の適合性の担保が行われているかのような標榜を行わないこと。
- プログラム開始後を含め、本プログラムへの参加が不適切である事由が明らかとなった場合、又は本プログラムの円滑な運営に困難をきたす可能性があると事務局が判断した場合、事務局の決定に基づいて本プログラムへの参加を中止させることがあることを承諾すること。

## 4.9 留意事項

- 締切日時を経過しての応募申請は、如何なる理由でも受け付けません。
- 本応募要領に示された様式以外での応募は、認められません。
- エントリーシートの必要事項に空欄などの不備がある場合は、審査の対象となりません。
- 提出された書類に虚偽の内容が確認された場合、応募は無効となりますのでご注意ください。
- 同一応募者による複数の応募は認めません。
- 応募資料、および本プログラムへの参加にあたって応募者が開示または提出する情報や資料は全てノンコンフィデンシャルな情報に限定して下さい。参加者が事務局および本プログラムの連携パートナー機関へ開示する情報や、本プログラムを通じて一般公開される情報は、参加者の責任の下で開示して下さい。特に、知的財産の取扱いには十分に留意して下さい。
- 選考状況・選考結果等に関する個別のお問い合わせには、一切お答えできません。
- 本プログラムは、応募者の皆様ご自身による事業化や事業展開の可能性を支援することを目的としています。本プログラムへの参加により、事業化の確約や応募者に何らかの利益が生じることを確約したり保証したりするものではありません。
- 本プログラムは一部の内容を除き英語での実施となります。通訳はつきません。
- 本プログラムの開催スケジュールや内容等は変更になる場合があります。
- 本プログラムの運営には万全を期しますが、万一これらに誤り等があり、応募者がこれらを実施すること等により、応募者に何らかの損害や損失が生じた場合でも、本プログラムの主催、運営事務局、およびパートナー機関関係者は一切の責任を負いません。
- 本プログラムに関する一切の費用は、応募者において負担していただきます(渡航費支援については、4.3 渡航費プログラム参加費および渡航費支援、をご確認下さい)。

## 5. 問い合わせ先

---

厚生労働省委託

「医療系ベンチャー・トータルサポート事業」事務局

株式会社三菱総合研究所

Direct Flight プログラム 担当

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

E-mail: info-medgoglobal@ml.mri.co.jp